

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ森」



第 1 号

平成29年 4月27日発行
須賀川市立第二中学校
☎75-2910
発行責任者：校長 高崎則行

新入生211名を迎え、全667名で29年度をスタート 入学式での立派な返事に期待高まる

4月6日(木)、須賀川市教育委員会委員 小松英子様、須賀川市議会議員 本田勝善様はじめ多数の地域の方々のご臨席を賜り、盛大に入学式を挙行することができました。平成29年度の教育活動が、1年生211名、全校生667名でスタートしました。(その後、転入生1名があり、現在は全校生668名です。)



式の冒頭では、学級担任に名前を呼ばれて返事をする新1年生の、一人一人の返事に中学生としての自覚と決意のようなものが感じられて、実に立派でした。学校生活に慣れるにしたがって、学習にも放課後の部活動などにもしっかりと取り組んで成長を遂げてくれるものと期待が高まりました。

式の中盤では、在校生を代表して生徒会長の星 智徳くんが、式場(体育館)内に掲げられている「不撓不屈」という言葉などを指し示しながら、「二中生の伝統である決してくじけない精神を受け継ぎながら、自分自身を輝かせ、将来に向かって有意義な中学校生活を送ってください。須賀川二中が今よりもっと笑顔あふれる明るい学校になるよう一緒に頑張っていきましょう。」と激励しました。また、新入生を代表して池田 心美さんが、「須賀川市立第二中学校の一員になったことを感謝し、あきらめずにやり通す心、誰にでも思いやりをもって接していく心、仲間と助け合う心をもって中学校生活を過ごしていきます。」と誓いの言葉を述べました。



さて、私は式辞の中で「一人残らず須賀川二中が大好きだと言える学校をつくるためには、生徒の皆さんも『たった一人の生徒もないがしろにしない』という気持ちを持ってほしい。その気持ちを、『誰に対しても、わけ隔てのない明るいあいさつを交わす』ということから始めましょう。」と呼びかけました。

こうして、歓迎の言葉・誓いの言葉・校長式辞を並べてみると、私はそれぞれに重なる部分があるように思うのですが、皆さんはどうお感じになったでしょうか。

授業参観、PTA総会等へのご参加ありがとうございました

吉田前会長から志波新会長にバトンタッチ

4月21日(金)には、授業参観、父母と教師の会総会、学年懇談会と多数のご出席をいただき、たいへんありがとうございました。

父母と教師の会は吉田 伸司前会長から志波 謙一新会長へ、体育文化後援会は志波 謙一前会長から水野 寛幸新会長にバトンタッチされ、新体制が整いました。役員の皆様にも、会員の皆様にも敷居の低い学校でありたいと思いますので、一層のご理解とご協力をお願いします。



新役員の皆様

お世話になります

次の方々が、本年度の父母と教師の会、体育文化後援会の役員さんです。

父母教師の会（敬称略）

| | |
|-------|-----------|
| 会 長 | 志波 謙一 |
| 副 会 長 | 鈴木 和夫 |
| | 須田 智博 |
| | 阿部 覚 |
| 庶 務 | 相楽 勝美 |
| | 根本 仁（学校） |
| 会 計 | 菊地 静子 |
| | 阿部 勇士（学校） |

体育文化後援会（敬称略）

| | |
|-------|-----------|
| 会 長 | 水野 寛幸 |
| 副 会 長 | 柏原 恭子 |
| | 原 安弘 |
| | 薄井 重伸 |
| 庶 務 | 柳沼さとり |
| | 橋本 和雄（学校） |
| 会 計 | 名越 慶子 |
| | 二瓶 光里（学校） |

転入職員は14名 よろしくお願ひします



校長
高崎 則行



3学年主任
理崎 裕子



1年3組担任
清水 裕子



2年3組担任
星 徹



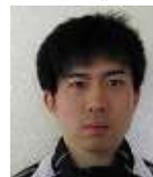
1年4組担任
中島 功二



2年8組担任
嶋原 幸治



3年9組担任
森尾 文恵



1年副担任
半澤 庄多



2年副担任
手代木芽ぐみ



1年副担任
齋藤 洸



相談員
阿部 尋子



支援員
佐藤 由紀



学校司書
福地 千草



学校司書
佐藤友花梨



ことばの力①—「翼成」—

「翼成（よくせい）」とは、助け合って成し遂げるという意味です。

私が20代のころ、2度目の1年生を担当した時、生徒が「学級だよりの名前を自分たちに付けさせてほしい」というので任せてみたら、この「翼成」という熟語を紙に書いて持ってきました。辞書にもあまり載っていないのではないのでしょうか。私も知らない言葉でした。生徒たちは、休み時間などを利用して分厚い漢和辞典を引いて自分たちのクラスにふさわしい言葉をいくつも拾い上げて、「みんなで」この一つに絞り込んだのでした。期待に満ちた目で私を見つめる生徒たちから言葉の意味を聞いて、即採用しました。



本校の学校だよりは、従来「岩瀬ヶ森」という題名で発行されてきました。この名前を残しつつ「翼成」というサブタイトルを付けさせていただきました。サブタイトルの方が文字が大きいのはおかしいじゃないかと思われるのは当然です。しかし、この言葉に対する思い入れの強さ、これからの須賀川二中生の学校生活に対する期待の強さゆえの私のわがままとお許し願ひします。

なお、「ことばの力」のコーナーでは、私が日ごろの読書、TVや映画等の視聴、会話などから採取した言葉を紹介してまいりたいと考えています。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。